

れいはいはさいこうのしゅくぶ

まいにち  
れいはい

わたしを あいしてください かみさまに  
さいこうの えいこうを ささげましょう

# みたまの み



- いのり \_\_\_\_\_ しかいしゃ
- しとしんじょう \_\_\_\_\_ みんなで
- さんび \_\_\_\_\_ さんびか 442 ばん (かいぬしわがしゅよ) とってもとってもすてき (2011 ねんこどもさんび)
- せいしよ \_\_\_\_\_ ガラテヤ 5:22~24

**ガラテヤ 5:22~24** しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。このようなものを禁ずる律法はありません。キリスト・イエスにつく者は、自分の肉を、さまざまの情欲や欲望とともに、十字架につけてしまったのです。

- みことば \_\_\_\_\_ みたまの み \_\_\_\_\_ しかいしゃ

キリストは、私たちがまだ罪人であったときに、私たちのために死んでくださいました。そのことによって、神様は私たちに**対する神様の愛**をあきらかにしてくださったのです。**神様の愛の中**にいる人は、神様への感謝と喜びがあふれます（喜び）。そして、神様が、私がまちがっていることをあやまる力とゆるす力もくださいます（平安）。**神様の愛**によって**人**に対するときには、おちついて静かに待つことができます（寛容）。そして、他の人の心を理解するだけでなく、なかよく、親しみをもって対することができます（親切）、良い心で他の人を尊く思うことができます（善意）。**神様の前**で、神様が願っておられることをして（誠実）、神様のみことばに従って謙遜に行動して（柔和）、心をコントロールすることができます（自制）。木が地面に深く根をおろしていれば、良い実がたくさん実るように、神様の中で、福音に根を深くおろせば、御霊の実がいっぱい実ようになるでしょう。

- いのり \_\_\_\_\_ いっしょに おおきなこえで  
いのりましょう
- ちちなる かみさま、ありがとうございます！ かみさまが わたしに くださった おおきな あい  
ありがとうございます。かみさまが くださる あいを ゆたかに あじわって みたまの み  
いっぱい みのるように たすけてください。  
イエス・キリストの おなまえに よって おいのりします。 アーメン
- しゅのいのり \_\_\_\_\_ いっしょに しゅのいのりを いのって れいはいを おえましょう
- フォーラム \_\_\_\_\_ きょうの みことばを きいて パパとママと はなしを しましょう



まいにち  
✓ チェックしよう げつよう かよう すいよう もくよう きんよう どころ

あまくて ふしぎな かみさまの みことばを まいにち よみましょう。  
よく みえる ところに はっておいて いっしゅうかん  
くりかえし よんで みことばを おぼえましょう

げつようび

しかし、みたまの みは、

あい、よろこび、へいあん、

かんよう、しんせつ、ぜんい、

せいじつ、にゅうわ、じせいです。

このようなものを きんずる

りっぽうは ありません。

キリスト・イエスに つくものは、

じぶんの にくを、

さまさまの じょうよくや

よくぼうと ともに、

じゅうじかに つけてしまったのです。



きりはりしよう

★ ちよき ちよき ★

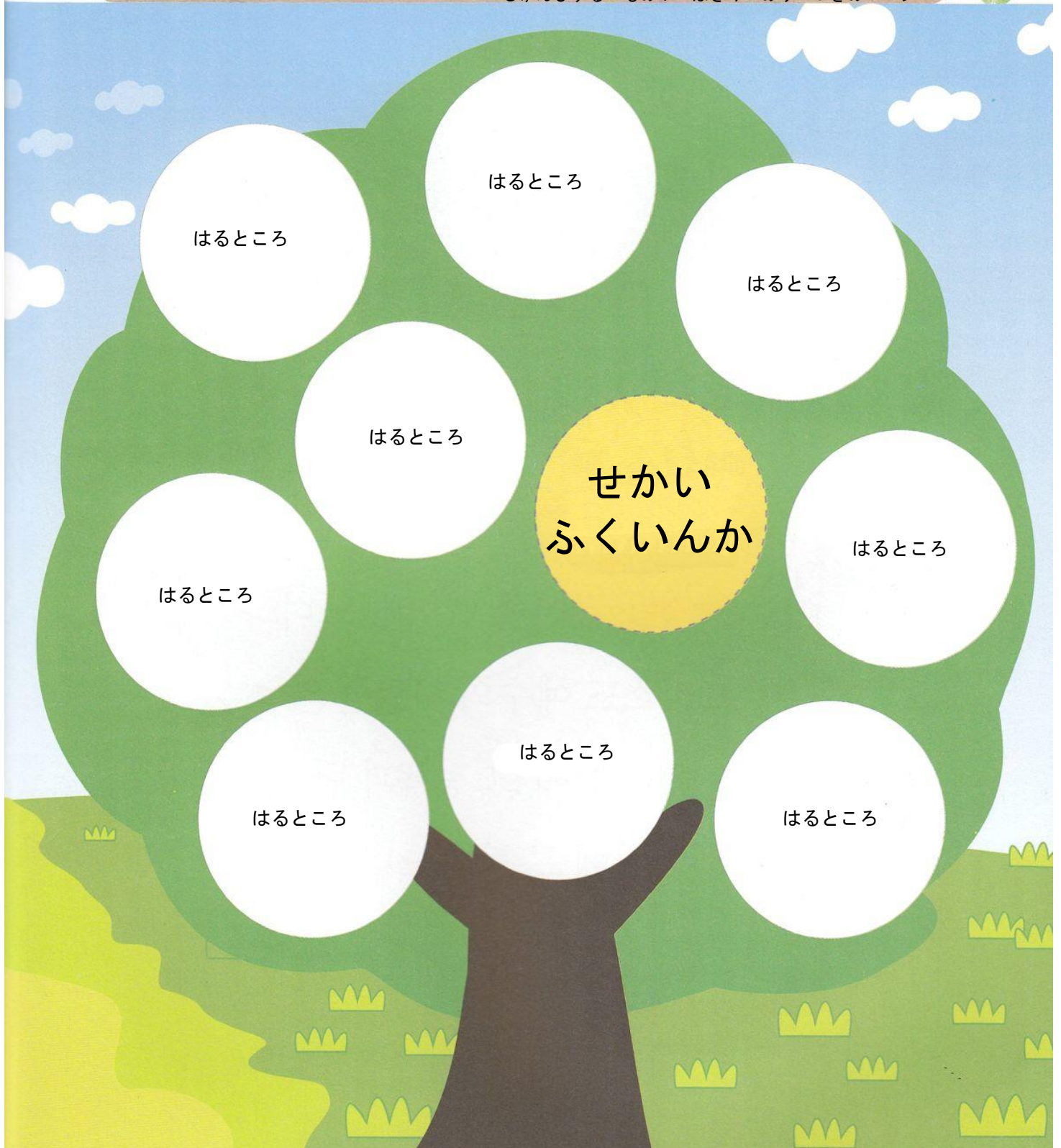
きって はりましょう

かみさまと ともにいる ひとに どうぜん あたえられる こたえが  
あります。 せいいい (みたま) の みを ゆたかに むすぶように  
なるのです。 つぎの ページから みを きりぬいて せいいいの  
きを かざりましょう。 したの あいている ところに えを  
きりとって はりましょう。

20

かようび

じゅんぴする もの : はさみ のり つぎのページ



ぜんい

せいじつ

へいあん

しんせつ

よろこび

あい

かんよう

じせい

にゆうわ



きょうも パパとママと いっしょに れいはいしましょう。  
きょうの みことばで じゅうような たんごを もういちど  
かんがえてみましょう。  
したの ないようを よんで じゅうような たんごを  
なぞって かきましょう

しかし、みたまの みは、

あい、よろこび、へいあん、

かんよう、しんせつ、ぜんい、

せいじつ、にゆうわ、じせい

このようなものを きんずる りっぽうは  
ありません。キリスト・イエスに つくものは、

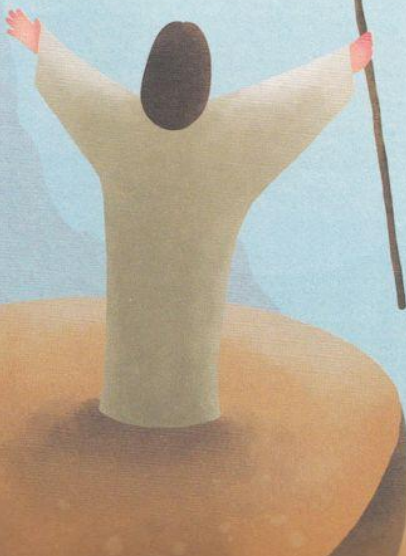
じぶんの にくを、さまさまの

じょうよくや よくぼうと

ともに、じゅうじかに

つけてしまったのです。

ガラテヤ5 しょう 22~24 せつの みことば





きは じめんに ふかく ねを おろすなら よい みを たくさん  
むすびます。そのように かみさまの なかで ふくいんの ふかい  
ねを おろすなら せいいの みを たくさん むすぶように  
なります。 したの えを きれいな いろで ぬりましょう。

じゅんびするもの | いろを ぬる どうぐ



パパとママと いっしょに おはなしして  
かみさまが よろこばれる かんがえ ことば こうどうを  
えで ひょうげんしましょう。

かみの こどもは イエス・キリストを こころの しゅじんとして  
うけいれた ひとです。 それゆえ うちに せいいいが ともに  
いてくださいます。 せいいいが ともに おられる ひとは かみさまに  
れいはいして せいいいの みを むすびます。 わたしが いま  
かならず むすぶべき せいいいの みは なんでしょうか。  
パパとママと いっしょに はなして えか じで ひょうげん しましょう。





ワーク

パッパ  
パッパ

たのしい ワークをして いっしょうかんの みことばを  
ここに きざみましょう

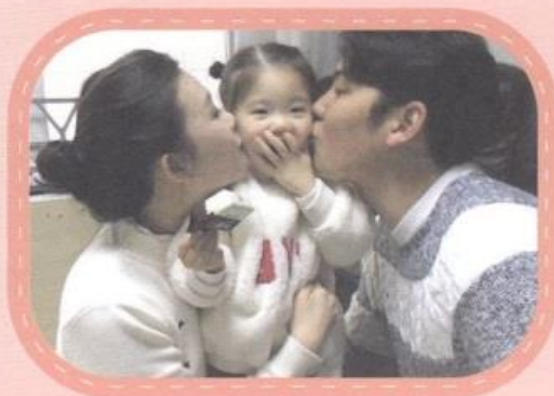
24

どうび

かみさまの あいの なかに いる ひとは ほかの ひとに その あいを  
あげることが できます。 かぞくぜんいんと いっしょに わたしの  
なかに みが むすんでいるのか せいいいの みを ことばと  
こうどうで じっせんしましょう。

じゅんびするもの | かぞく ぜんいんが あつまろう

## みたまの みを じっせんしよう



「だいすき。 かんしゃです。 ありがとう。 うれしい。  
れいはい、 みことば、 いのり、 さんび わたしは します。  
さいしょに します。

わたしは せかいふくいんかの しゅじんこう、  
かみさま だいすきです…」など  
みたまの みを ことばと こうどうで じっせん  
しましょう。